

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	保健体育Ⅳ
科目基礎情報					
科目番号	0041		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般科目		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	近畿地区高等専門学校体育研究会編「保健体育概論 (改訂増補版)」				
担当教員	小野 伸一郎, 梅垣 浩二				
到達目標					
1.積極的に運動し、運動を楽しみ、協力や責任を果すことができる。 2.課題の解決を目指し、活動を工夫できる。 3.運動技術を理解し、運動技能を高めることができる。 4.技術・健康・体力に関する事項を理解し、身につけることができる。					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		積極的に運動し、運動を楽しみ、協力や責任を果すことができる。	運動し、運動を楽しみ、協力や責任を果すことができる。	運動し、運動を楽しみ、協力や責任を果すことができない。	
評価項目2		積極的に課題の解決を目指し、活動を工夫できる。	課題の解決を目指し、活動を工夫できる。	課題の解決を目指し、活動を工夫できない。	
評価項目3		積極的に運動技術を理解し、運動技能を高めることができる。	運動技術を理解し、運動技能を高めることができる。	運動技術を理解し、運動技能を高めることができない。	
		十分に技術・健康・体力に関する事項を理解し、身につけることができる。	技術・健康・体力に関する事項を理解し、身につけることができる。	技術・健康・体力に関する事項を理解し、身につけることができない。	
学科の到達目標項目との関係					
(E)					
教育方法等					
概要	健康・安全や運動についての理解と運動の合理的・計画的な実践を通して、生涯にわたる豊かなスポーツライフを維持する資質や能力を育てると共に、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てることを目的とする。				
授業の進め方・方法	授業内容については天候等により順序変更を行う。体調の変化について自己管理すると同時に、担当教員に報告し、健康および安全に留意して授業に参加する。				
注意点	1.関心・意欲・態度, 2.思考・判断, 3.運動の技能, 4.知識・理解, の4つの観点から、実技点75%および理論試験(後期期末試験)25%の比率で評価する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明, ソフトボール	シラバスおよび授業実施の方法について理解する。ソフトボール個人技術とゲームルールの理解と実践ができる。	
		2週	ソフトボール	ルールを理解し、ゲームを進めることができる。	
		3週	ソフトボール	より発展したゲームを展開できる。	
		4週	フライングディスク(各種投法の基本)	投法を理解し、実践できる。	
		5週	フライングディスク(アキュラシー)	種目を理解し、正確に実践できる。	
		6週	フライングディスク(アルティメット)	ルールを理解し、ゲームを進めることができる。	
		7週	フライングディスク(ディスクゴルフ)	ルールを理解し、ゲームを進めることができる。	
		8週	前期末にレポート提出		
	2ndQ	9週	ユニバーサルホッケー(個人技術とゲーム)	安全にゲームを進めることができる。	
		10週	ユニバーサルホッケー(ゲーム)	より発展したゲームを展開できる。	
		11週	ターゲットバードゴルフ(スウィングの基礎)	技術を理解し、正確に実践できる。	
		12週	ターゲットバードゴルフ	ルールを理解し、ゲームを進行できる。	
		13週	水泳	水慣れするとともに、安全に泳ぐことができる。	
		14週	水泳	各種の泳法を泳ぐことができる。	
		15週	水泳	長距離を泳ぐことができる。	
		16週			
後期	3rdQ	1週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。	
		2週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。	
		3週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。	
		4週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。	
		5週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。	

		6週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。
		7週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。
		8週	後期末にレポート提出	
	4thQ	9週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。
		10週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。
		11週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。
		12週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。
		13週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。
		14週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。
		15週	選択種目によるグループ学習	安全に運動実践を行い、技術、体力を向上させることができる。選択した種目を楽しみ、スポーツを継続して実践できる。
16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	レポート	平常点	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	25	5	70	0	0	0	100
配点	25	5	70	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0